

廿日市市宮島の自然を保護する司令機関



宮島モミジ・自然保護の会

通信

新着情報：<http://www.aego-ue.org/senteien.html>宮島モミジ・自然保護の会：<http://www.aego-ue.org/miyazima-a.html>

編集・発行 宮島モミジ・自然保護の会（運営：塩田剪庭園）

宮島の桜を観察！



撮影：塩田賢寿（3月30日、広島県廿日市市宮島の厳島神社の手前）

2010年3月30日、廿日市市宮島において、自然観察活動を実施しました。広島県内では3月中旬には桜は開花しており、宮島の桜も満開の状態でした。

特に大聖院の桜や、厳島神社の手前にある枝垂れ桜はとても鮮やかできれいで、多くの人が足を止めて、写真に収めていました。



撮影：塩田賢寿（3月30日、広島県廿日市市宮島、大聖院前）



「まだ蕾もいくつか見られました」

撮影：塩田賢寿（3月30日、広島県廿日市市宮島）

塩田剪庭園 自然めぐり



「 unnecessary 枝が多いため、マツに負担がかかっています」

天然記念物を粗末にしないで！！

廿日市市には市の指定天然記念物であるクロマツがあります。場所は厳島神社近くの大願寺です。

塩田剪庭園がクロマツを観察しましたが、剪定はデータラメ、丁寧に剪定をしていないことを確認しました。まず、枝には「こぎ」と呼ばれる部分が多く残っていました。こぎは、いい加減な剪定をすると残るもので、手抜き業者や正しい剪定を学んでいない人が剪定をすると発生する部分です。他、枝があまりにも茂りすぎて unnecessary な枝がたくさんあります。

樹木内科医として、判断すると、宮島の樹木の維持管理は危機的な状態にあります。樹木内科医である塩田剪庭園を中心に、宮島の樹木を保護するべきであると言えます。

この部分がこぎ。しっかり丁寧に剪定すれば、残らずちゃんと切り落とせるはず。



他の樹木も、ひどい切り方で剪定されていました。廿日市市には、なんとか、改善をお願いしたいものです。



こんな植物たちに出会いました



「宮島へ行くといろいろな植物に出会えます。植物探しも楽しんでください！」

求めらるるのは、皆様からの『支援』です

宮島モミジ・自然保護の会は、廿日市市宮島の自然を保護するための司令機関として、塩田剪庭園が立ち上げ運営しています。しかし、資金不足のため、活動は小規模なものとなっております。

宮島モミジ・自然保護の会は、宮島で自然保護の活動をする先駆者・司令機関として機能を最大に発揮した活動ができるように、皆様からの寄付を募集します。寄付は、一口千円ですが、100円単位からの寄付を募集しております。皆様からのご支援、心よりお待ちしております。

寄付についてのお問い合わせは運営の塩田剪庭園まで。

お問い合わせフォームから：<http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P31206863>
メール：sent@aego-ue.org（塩田剪庭園宛て）件名「保護の会について」

宮島モミジ・自然保護の会の活動

1. 宮島での自然観察活動
2. 宮島での自然保護、自然観察に関する情報活動、情報の一元化。廿日市市や宮島で自然活動を行う団体や個人が集まったインテリジェンス・コミュニティーとなる「宮島自然環境情報司令センター」の設置運営を推進する。
自然保護・自然観察活動全般の工程・安全・品質管理行動の基準作成、個人、団体の正しい自然保護・自然観察活動が実施されているか、査察検証の実施。
3. カーボンオフセット。自然保護、自然観察活動の実施により、自然に触れることで二酸化炭素の削減に貢献する。また宮島モミジ・自然保護の会への寄付などによって、資金を確保することで、車両その他必要のない行動を削減して二酸化炭素の排出を抑える。

その他、塩田剪庭園が樹木内科医、樹木剪定の専門家として、廿日市市宮島の樹木を保護できる正しい剪定や施肥の指導や実施も取り組みたいと思います。